

## 平成21年度 石山プロジェクト春学期報告会

10月15日（木）第1講義室にて（15時10分受付）、石山幼稚園・小学校で活動しているサポーターが、活動の様子や活動で気づいたこと、学んだことなどを報告しました。発展実習の報告会等に参加する学生もあり、全員参加とはなりませんでしたが、学生33名、教員5名の計38名の参加の中、学年部ごとに報告が行われました。

今回の報告会は、学生報告に先立ち、2日後（10/17）に日本教育大学協会研究集会の第5分科会での「教育現場体験を通じた『実践的指導力』の形成ー地域密着型モデル校での教育活動よりー」の報告が、伊勢野さん・岡本さん・高坂さんから行われ、よりよい研究報告とできるよう先輩達から助言を受けました。

1年生グループの「心に残った場面」という報告では、集団になじめなかったAさんに対して、担任がみんな遊びを取入れることで、自分から遊びに加わるような成長を引き出した事例が紹介された。そのことから「1年生では学習指導だけではなく、遊び等を通じた人間関係づくりの指導が必要」という学びが出された。

また、日記を書くという学習支援場面において、何を書くのか困っていた児童に「例」を示したことで、その例をそっくりそのまま書き始め、「次は何を書くの、次は・・・」と書く内容を求め続けた児童の事例を通して、「何事も素直に受け止める子どもたちに対して、指導者として正しい言葉遣い、言葉選びをして接していくこと」を学んだことが報告された。

2年生グループからは、「2年生としての子どもの成長」について報告された。1年生から継続して活動しているサポーターからは、給食時間や掃除時間、学習時間に友達同士で注意し、励まし合えることに成長を感じたこと。大人の場合はものさしを使ってある長さの線を引くことは難しいことではないが、2年生では定規をあてること、長さを測ること、線を引くことというようにいくつものことを同時に行うことにはまだまだ難しさがあるが、1年生では困難な状況にあるとすぐに投げ出してしまったB児が、その困難なことに根気強く取り組めた姿に成長を感じたことなどが報告された。

最後に、石山小学校の勝山先生からは、5年生の報告にあったように、自分が子どものころの経験とつなげての児童理解も有効ではないかという助言を受けた。お忙しい中、ご参加いただいた先生方、ありがとうございました。

